

平成30年度に建設工事で発生した事故事例（火災）

【事故概要】

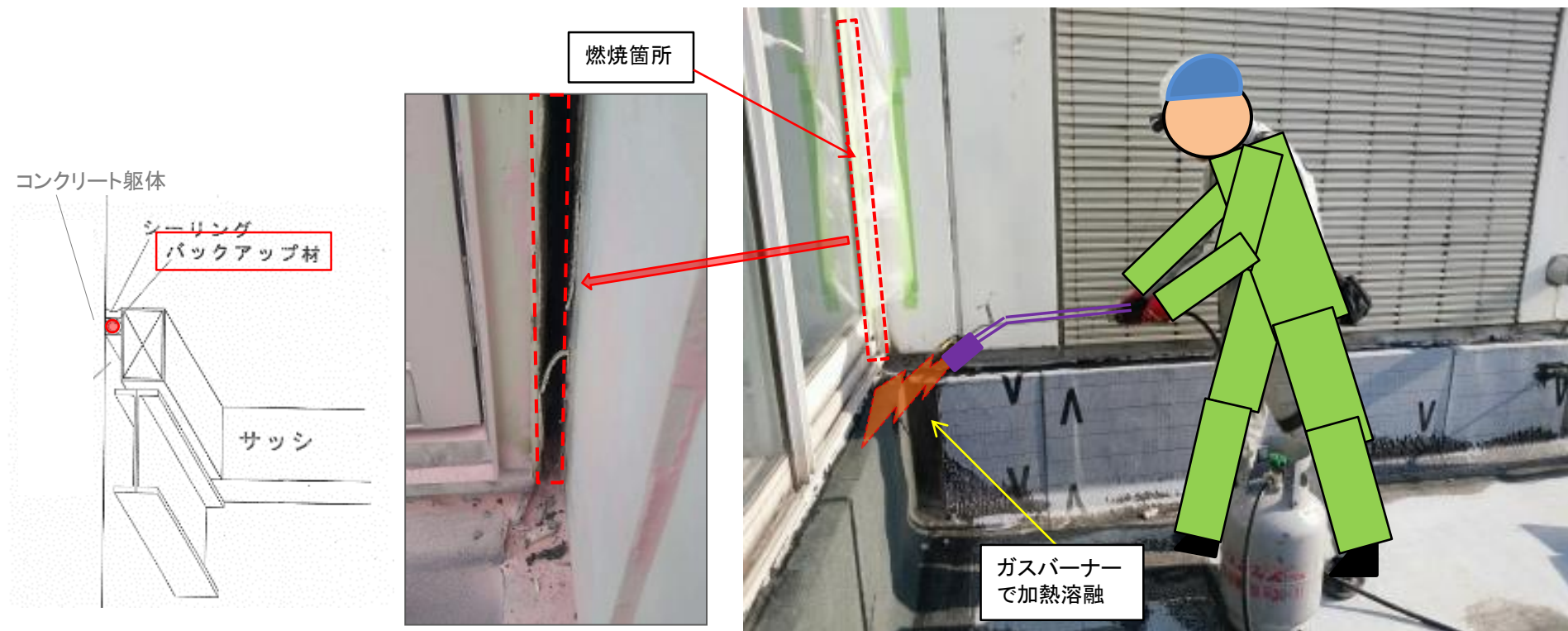
1階多目的ホール屋上のアスファルト防水改修において、立上り部分天端の下層ルーフィング表面をガスバーナーで加熱溶融していた際、既設サッシと躯体コンクリート取合い部のシーリング裏側にあったバックアップ材に引火、約1mが燃焼し、発煙した。

【事故原因】

- ・施工範囲外との取合い部等、既存部分の養生や安全管理が重要である場所の施工を1人で作業していた
- ・施工箇所周辺及び不可視部分の可燃物の有無を確認しなかった

【改善対策】

- ・作業員2人体制とし、1人が不燃材にて養生しながら作業を行う
- ・事前に可燃物の有無を確認し、必要に応じて施工方法、施工手順等の見直しを行う



【分類】 建築、防水

【被害状況】 建物火災（火災による被害は無し）